

釧路湿原川レンジャー News

2023 Vol.5

第4回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第4回 釧路湿原川レンジャー学習会」を令和6年1月26日に開催し、17名が参加しました。午前中は又マオロ地区旧川復元事業地において、釧路湿原自然再生事業に関わる旧川復元工事の様子を見学しました。午後は、鶴居村ふるさと情報館みなくるにて川レンジャー活動の振り返りを行い、その後、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリの給餌場において、解説をしていただきながらタンチョウの給餌の様子を見学しました。



復元箇所と重機をバックに記念撮影

位置図

■ 又マオロ地区旧川復元事業地の見学

かつて蛇行していた又マオロ川は、1973~'82年の直轄明渠排水事業で整備されて直線河道となり、周辺地域は農地として利用可能となりました。一方、直線化により河川環境は大きく変化し、自然環境に問題が出てきました。そこで「釧路湿原中心部への土砂流出の軽減」「氾濫原の再生による湿原植生の再生」「又マオロ川本来の魚類などの生息環境の復元」「湿原景観の復元」の4つを目標に、①旧川を掘削により復元(現在の直線河道からの切り替え)、②河岸残土の撤去、③直線河道の埋め戻しを実施して、本来の蛇行した又マオロ川に戻す工事が進められています。



掘削現場の見学



掘削作業

工事の方法や地域の自然環境、その他にも様々な質問が出ていました



工事範囲図 (○…今回の見学位置)

■ 令和5年度川レンジャー活動の振り返り（鶴居村ふるさと情報館 みなくる）



令和5年度の川レンジャー活動の振り返りを行いました。学習会や観察報告について紹介され、また、川レンジャーの方々から意見などを伺いました。

いただいた感想・意見など

- 普通は見れない所を直接見ることができて良かった
- 様々な方に活動の魅力を知ってもらえるよう、PR方法を工夫した方が良いのではないのでしょうか
- 報告内容は、毎日見かける釧路川(湿原)の「ちょっと気にかかった」事でも良いのではないのでしょうか

■ 鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリでの給餌見学

鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリにおいて、チーフレンジャーの原田様より、給餌場に集まったタンチョウに見られる行動や給餌などについて解説していただきました。

マナヅル(右)もいました!



給餌場での解説・見学

寒い中での見学でしたが、皆さん熱心に解説を聞き、タンチョウの様子に感激していました。

タンチョウの雌雄の判別

タンチョウの行動を観察していると、雌雄を判別できる場合があります。隣同士のタンチョウがお互いに鳴くとき(鳴き合い)、口を開けているのが雄、閉じ気味なのが雌なのだそうです。鳴き合いの声はコーカッカッと聞こえますが、雄は口を開けてコー、雌は口を閉じ気味にカッカッと鳴くためだそうです。



■ 観察活動の報告

川レンジャーより観察活動の報告がありましたので、ご紹介いたします。みなさまからの活動報告をお待ちしております。

報告日	報告内容
令和5年11月1日	鶴野地区でキレンジャクを確認しました。秋は山林に留まり、冬から春にかけて市街地に現れることが多いと資料に書いてありました。
令和5年11月7日	大規模運動公園でミソサザイを確認しました。手すりの上を左右に移動を繰り返す、やがて、草むらの中に入っていました。
令和6年1月15日	大規模運動公園にて、全面結氷した人工池排水路にフロストフラワーができていました。ガイドブックに載るような現象を、身近で見ることができて良かったです。
令和6年1月15日	塘路湖エコミュージアムセンター主催の「塘路湖の氷上を歩こう」に参加し、氷丘脈(「ひょうきゅうみやく」)また、御神渡り(とも)を見てきました。昨年も確認されており、今年も同じ場所にできているそうです。

